



豊玉二中だより

令和8年度 第5号

発行日 9月1日(火)

練馬区立豊玉第二中学校

校長 大野 雄一郎

夏の挑戦・成長を糧に、充実の2学期へ

校長 大野雄一郎

45日間の夏休みが終わり、学校に生徒たちの笑顔と活気が戻ってきました。猛暑が続いた夏でしたが、ご家庭や地域でどのように過ごされたでしょうか。一人一人が目標や課題に向き合い、一回りたくましく成長した姿で登校してくれたことを大変うれしく思っています。この夏に培った挑戦する姿勢や経験を、ぜひ2学期の学校生活へつなげていってほしいと期待しています。

この夏休み中も、豊二中生の多方面にわたる素晴らしい頑張りが光りました。地域の夏祭りや行事では、今年もボランティアスタッフとして精力的に参加し、地域の方々と触れ合いながら笑顔で活動していました。地域社会の一員として頼もしく活躍する姿は、誠に誇らしいものでした。また、部活動においては、女子ソフトテニス部が都大会で、吹奏楽部がコンクールで練習の成果を存分に発揮し、心のこもった試合や表現を見せてくれました。後半は運動部が新チームとして秋の新人戦を見据えた大会等に挑み、緊張感の中でも全力を尽くしたようです。さらに、海外派遣やイングリッシュキャンプ、子ども議員に参加した生徒たちも、多様な体験を通して視野を広げ、大きな自信を得ることができました。



さて、本日より始まる2学期は、年間で最も長い79日間となります。文化発表会や2回の定期考査をはじめ、修学旅行や職場体験、鎌倉校外学習など、生徒たちが互いに高め合い、絆を深める大切な教育活動や行事が数多く予定されています。一つ一つの行事や取組には、皆さんの成長を促す大切な目的があります。なぜそれを行うのかという意義を自分なりに考え、主体的に臨むことで、得られる達成感や学びはより深いものとなります。また、秋は気候的にも過ごしやすく、学習やスポーツ、文化的な活動にじっくりと打ち込むには最高の季節です。「実りの秋」にふさわしく、日常の授業を大切にしながら、自分が夢中になれるものや新しい目標を見つけて挑戦してほしいと願っています。

季節の変わり目は、心身ともに疲れが出やすい時期でもあります。保護者の皆様におかれましては、ご家庭でお子様の様子に気になる点やご不安な点などがございましたら、遠慮なく学校までご相談ください。2学期も学校と家庭・地域が連携し、温かく子どもたちを育てて行きたいと考えています。2学期も変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。